授業科目名	看　護　倫　理 *Nursing Ethics*			担当教員	柳井　圭子、中村　光江	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数（単位数）	15（1）	
必修選択	選択 （保健・看護コース必修） （助産教育コース必修）	授業形態	講義	使用教室		

授業の目的	看護倫理の基本的考え方や諸概念について学び、看護実践における倫理とは何かを探究するとともに、臨床における倫理的問題や葛藤についての分析およびそれらに対する解決策の検討を通して、高度な看護実践に求められる倫理的思考や関係者間における倫理的調整能力を養う。
到達目標	1．看護倫理の基本となる考え方、倫理原則、モデル、諸概念を理解する。 2．看護実践において生じうる倫理的問題・葛藤について、多角的な視点から分析し、討議することができる。 3．看護実践の場で遭遇する倫理的課題について、解決への具体的方法を見出し、必要な調整を遂行できる能力を養う。

DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6（保健）	DP6（CNS）	DP7（CNS）	DP6（助産）	DP7（助産）	DP8（助産）
	◎				○						

授業計画	1回　看護倫理の発展過程、倫理モデル、倫理原則、倫理的概念　（柳井） 2回　意思決定支援における倫理的課題－モデルの活用と事例検討（治療拒否事例を通して）　（柳井） 3回　現代医療における倫理的課題（1）：患者・家族の権利とその擁護（安楽死事例を通して）　（柳井） 4回　現代医療における倫理的課題（2）：道徳的価値とその苦悩（生殖補助医療事例を通して）　（柳井） 5回　看護実践における倫理的課題及び倫理的アプローチの特徴　（中村） 6回　事例検討（1）：看護実践における意思決定支援　（中村） 7回　事例検討（2）：臨床における倫理調整の実際　（中村） 8回　事例検討（3）：看護専門職としての倫理コンサルテーション　（中村）
学習方法	授業は、受講者によるプレゼンテーション、事例検討を行い、全体討議で進めていきます。準備にあたっては、参考文献・資料等関連するものを適宜紹介します。事例検討においては、受講者が臨床での経験から倫理的問題や疑問を含む事象を事例として提示し、解決策や調整方法に関する検討を通して、倫理的視点から看護実践を考察する能力を育成します。
オフィスアワー	メールで事前に連絡をとってください。 柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp（木曜日の昼休み） 中村：m-nakamura@jrckicn.ac.jp（火曜日の昼休み）
テキスト	特に指定しない。

参考文献	下記以外は、授業内で紹介します。 小西恵美子：看護倫理を考える言葉 . 東京 , 日本看護協会出版会 ,2018. Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice THIRD EDITION - A Guide to Ethical Decision Making, 2008. 片田範子，山本あい子訳：看護実践の倫理【第 3 版】倫理的意思決定のためのガイド．東京，日本看護協会出版会，2010. R. Pegoraro, et al: Hospital Based Bioethics, 2007．藤野昭宏監訳:病院倫理入門．東京, 丸善出版，東京，2011. 宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任．東京，中央法規，2014. Chambliss, D. F.：Beyond Caring：Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics, 1996．浅野祐子訳：ケアの向こう側　看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾．東京，日本看護協会出版会，2002. Thompson, J. E., Thompson, H. O: Bioethical Decision making for nurses, 1985. ケイコ・イマイ・キシ，竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004.
評価方法	授業への参画（プレゼンテーション、討議）：40%，課題レポート：60%